



未来投資に向けた官民対話(第5回)

2016年4月12日

経済同友会 代表幹事 小林喜光



改革への安倍内閣の意志

1. 規制改革の断行

・・・私はこれからの3年を、集中的な改革の期間と位置付け、持てる政治力を、投入します。固い、岩盤のような日本の規制を、私自身をドリルの刃（やいば）として、突き破ろうと思っています。今度こそ、日本をいい国、強い国にして、次の世代に渡すことができないようでは、いままで生きてきた意味がありません。・・・

安倍総理大臣・経済政策に関する講演（2013/6/19）

・・・既得権益の岩盤を打ち破る、ドリルの刃になるのだと、私は言ってきました。春先には、国家戦略特区が動き出します。向こう2年間、そこでは、いかなる既得権益といえども、私の「ドリル」から、無傷ではられません。・・・

世界経済フォーラム年次会議冒頭演説～新しい日本から、新しいビジョン～（2014/1/22）

2. 世界で一番ビジネスがしやすい国の実現

・・・国籍に関係なく、誰から見ても日本が魅力的な投資先となる。「世界で一番ビジネスがしやすい国」でなければ、日本企業といえども、国内投資を増やすことはできない。グローバルな競争は、激しさを増しています。・・・

ジャパン・サミット2015 安倍内閣総理大臣基調講演（2015/7/9）

出所：首相官邸HPより

．規制改革の断行

1．民間主導経済の確立

市場を機能させる観点から、規制のデザイン改革（再設計）が必要である
行為規制や罰則の厳格化等、社会的に望ましい行動を促すように設計する
規制導入の影響について、事前評価とその内容の公開を一層推進する
新たな規制改革推進組織を創設する

関係府省に対する権限強化、関係府省に対して独立性の高い事務局の設置など

2．対内直接投資拡大に向けた環境整備

各種経済連携協定と並行して、国内の規制・制度改革を推進する
ルール運用における予見可能性と透明性を維持・向上させる仕組みをつくる
サービス産業の規制をグローバル市場に適合させる（日本のサービス産業の海外展開にも有効）

3．既存の制度・仕組みの周知徹底と情報公開の徹底

グレーゾーン解消制度

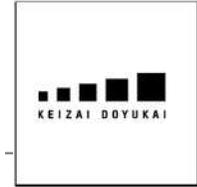
活用事例：自己採血による簡易血液検査サービス

（ただし、今後、ビジネスモデルを確立することが必要）

企業実証特例制度

活用事例：基準よりもアシスト力の大きいリヤカー付電動アシスト自転車の公道走行

世界で一番ビジネスがしやすい国の実現



1. 行政手続き・許認可等の複雑さの抜本改革

日本企業・外国企業を問わず利用者目線で改革
「ITファースト」全ての手続きはIT原則
IT原則の徹底で更なるビジネスコストの低減
上記の好循環で生産性向上と立地競争力強化

2013年調査	順位	2015年調査
ビジネスコストの高さ	1位	行政手続き・許認可等の複雑さ
日本市場の特殊性	2位	人材確保の難しさ
外国語によるコミュニケーションの厳しさ	3位	外国語によるコミュニケーションの難しさ(ビジネス面)
行政手続き・許認可制度の厳しさ、複雑さ	4位	日本市場の特殊性
人材確保の厳しさ	5位	ビジネスコストの高さ

2. 政府もバックカスティングの実践を

未来予測が困難な時代(例:第4次産業革命など)
「あるべき姿」を描き、逆算して具体目標を設定
バックカスティングは企業では当たり前の手法

「あるべき姿」=「世界で一番ビジネスがしやすい国」
規制・行政手続きコスト削減もKPIの設定
達成の目標・時期を明確に定量化してPDCA管理を徹底

「日本の投資環境に関するアンケート」

阻害要因トップ5の比較

(「ジェトロ対日投資報告2015」をもとに作成)